

評価実施日：2020年2月22日（公表日：2020年3月8日）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			児童一人一人が十分に活動ができる、広い空間になっている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			職員配置数とご利用児童数がマンツーマンに近い体制となっている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			絵カード等を使った情報伝達を積極的に採用。危険と感ずる段差や角にクッションやマットによる対策を講じている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			必要に応じて報告し合い、評価改善を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>		今後検討してゆく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			勉強会等、積極的に参加し学ぶ機会が定期的にある。	後は外部研修等も増やしてゆく。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>				
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			各職員に意見を求め立案している。	現在のプログラムをベースに、より児童の興味を引き出せる新年度プログラムを検討している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			多くの児童が参加できるよう改善しながら進めている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>				打ち合わせ時間は日々限られているが、児童に関する変化や必要な情報を職員間でコミュニケーションを密にし共有してゆく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			支援終了直後ではないが、気付いた点等は、当日中にグループメール等にて共有している。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>					

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校送迎の際、担当教員からの引継ぎを行っている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現在、医療的ケアを必要とする児童は通所していない。	該当しない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			地域の療育センターとの連携は行っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童の特性によっては、そのような交流を苦痛に感じる方もいるため、弊事業所は行っていない。	児童の特性を考えると今後も弊事業所では行わない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後検討してゆく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者が児童発達支援管理責任者とインターネット上で繋がりがいつでもアドバイスができる体制となっている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者が児童発達支援管理責任者とインターネット上で繋がりがいつでもアドバイスができる体制となっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を開催した。今後も定期的に行う予定。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			2か月に1度、家族向けの会報を発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	児童の特性を考え、また当該事業の特性も考慮に入れた上で図っていない。	児童の特性を考え、弊事業所では今後も行わない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○					
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○					
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				勉強会等を通し職員全体に意識付けを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	—		身体拘束は一切行っていない。	該当しない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				職員全体に周知し、個別の配慮をしている。	医師の指示ではないが、今後も保護者と密に連携して対応してゆく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				事例集までは作成していないが、会議等で共有している。	